

ヒト由来の□異型イソクエン酸デヒドロゲナーゼ**1 R132H**、組換え品

Cat. No. NATE-1649

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 細胞質IDH 1の□異は、原発性のヒト脳腫瘍において一般的な特徴です。IDHのアルギニン

132 (R132) は、異なるアイソフォームの間で高度に保存されており、最も一般的にヒスチジンに Π 異します。IDH1 R132Hの Π 異は、R (-) -2-ヒドロキシグルタル酸(2HG)の蓄積を

引き起こし、これは□性脳腫瘍のリスク□加と相関しています。

製品情報

種 人間

由来 大腸菌

形態 添加物を含む凍結乾燥粉末

製剤化 1mM DTT、10% グリセロールを含む20 mM Tris-HCl バッファー(pH8.0)で。

分子量 50.9 kDa

純度 > SDS-PAGEによる90%

活性 >500 mU/mg

単位定義 1ユニットは、25°CでpH 7.4の条件下で1.0 μmoleのNADPHをNADP+に□換する酵素の量で

す。

使用法とパッケージング

再構成 30%グリセロール/水中で、2 mg/mlo濃度で凍結乾燥したタンパク質を再懸濁し、その後、

将来の用途でさらに希釈します。

保管・発送情報

保存方法 凍結乾燥したタンパク質は、-20°Cで1年間安定しています。再構成した後は、アリコットを-

20°Cで保存してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。